

2009年7月24日
織研新聞社

JFWインターナショナル・ファッション・フェア
日本のほか、欧米、アジアから800社を集め、きょう最終日



- 個性豊かなファッション製品にインド、タイなど中国プラス1も勢ぞろい -

織研新聞社が主催する日本で最大級のファッション総合見本市「JFWインターナショナル・ファッション・フェア（JFW-IFF）」が24日に最終日を迎えました。初日に8019人、2日目には****人が来場しました。最終日も午後1時時点で****人が会場を訪れています。景気低迷下での開催となった今回のJFW-IFFですが、日本のほか欧米、アジア14カ国から806社が出展し、前回の1月展の規模を上回りました。出展内容も、アパレルや帽子、バッグ、靴などに加え、インテリアや美容器具まで、豊富なバリエーションが揃いました。

また、今回のフェアでは、新進デザイナーやブランドを集めたクリエイターズビレッジ（CV）で、素材見本市のJFWジャパン・クリエーションとコラボした「CVinJC」の取り組みが披露されたほか、ブラジルの天然ゴム素材を使ったフェアトレード製品の提案など、個性豊かな中小規模の出展も注目を集めました。一方、海外からは、中国プラス1で関心の高まるインドからの大規模出展や、タイ国政府商務省輸出振興局によるタイパピリオンの出展もありました。会期中には、インドアパレル輸出振興協会によるファッションショーや、有名スタイリストとヘアメイクアップアーティストによるトークイベントも開催されました。



リーズナブル商品に根強い人気、他にない付加価値の商品にも高い関心 -

今回のあいにくの雨模様に見舞われた今回のJFW - IFF、初日は来場者の出足も鈍かったのですが、2日目以降は例年並みの安定した来場者数に戻っています。不況の最中でファッションを売るにも、他とは一味違った商品を求めるバイヤーはいつになく増えており、専門店バイヤーからは「JFW - IFFでは値が張っても他にはない付加価値を持った商品を見つけて品揃えに加えたい」「若い顧客を開拓するためにも個性が強い服、それも環境に配慮するなど時代性や社会性を感じられるブランドに注目している」などの声が寄せられました。また、価格訴求の流れの強さを反映し、値ごろ感を打ち出したアパレルや雑貨のブースには、専門店や量販店だけでなく、百貨店バイヤーも強い関心を示していました。

次回のJFW-IFFは2010年1月13日から、東京ビッグサイトで開催！ -

次回のJFW - インターナショナル・ファッション・フェアは、2010年1月13~15日、東京ビッグサイト西棟で開催します。日本最大規模のファッション見本市として、出展者、来場者の皆様方をはじめ、ファッション産業に携わる関係社の皆様のお役に立てるよう、今後もさらに内容の充実を図ってまいります。

【本件に関する報道関係者の方からのお問い合わせ先】

織研新聞社 IFF 事務局

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町 31-4

担当：山本

E-mail:yamamoto-d@senken.co.jp